

# コロナからの脱却!

# 花ノ木

第 116 号

令和 5 年 7 月 23 日

花ノ木医療  
福祉センター

電話 0771-23-0701

FAX 0771-22-8348

H.P <https://kyoto-hananoki.jp/>

## 第一病棟

コロナ禍での制限が解除されつつある中、今年度の第1病棟日中活動のテーマは「活用」で、様々なモノを「活用」していこうと思っています。

まず1つ目は「花ノ木資源の活用」です。物品に限らず空間や場所等、病棟以外の花ノ木資源を活用して日中活動の内容を深めていこうと動いています。気候の良い5月には屋上での活動を積極的に取り組みました。シャボン玉遊びでは、職員の方が楽しくはしゃいでいたようですが、利用者さんと職員が一緒になって楽しめるのはいいなあと再認識しました。2つ目は「時間の活用」です。日

課の中で時間を決めて実施する活動には限界がある中、日課の隙間に時間、特に食事や入浴前後の時間を有効活用し、個別



活動を積極的に取り組んで行こうとしています。

3つ目は「人材の得意分野の活用」です。誰しも得手不得手があります。不得手を克服、減らす事にこだわらず、得手を増やし深めていこうと考えています。日中活動委員1人1人が、この1年間で他職員には負けない、この活動をやれば1番!と言えるような得意な活動内容を企画運営できればと思います。

これからも、利用者さんの楽しいウキウキする経験と、記憶に残る活動になる様に取り組んでいきます。

(生活支援員 片山将宏)

## 第二病棟

5月9日以降、外気浴なども想定しながら、外に出る活動を取り入れようになりました。

先日は屋上に出てコーヒーや紅茶タイムをする機会を持ちました。食事を終えゆったりとした気分の中でという方が中心でしたが、新緑を愛でながらのコーヒータイム!利用者の方々も笑顔、職員も利用者さんの笑

顔を見て笑顔が出ました!

多人数で過ごすというところが本当になく、久しぶり!

また別の日には、医療的

ケアが必要な方が中心にな

って多目的室で、体調が心配な方は

ランチルームに分かれて、看護師も

それぞれ配置しボウリングを行いました。

また、夏野菜を植えて、ジャガイモを収穫。給食で冷製スープにしてもらい、美味しくいただきました。

コロナ禍の前は、当たり前のようにしていた活動内容を、少しずつ少しずつ日常に戻していこうと計画、

でも感染のリスクを考えながら...でも前を向きたい!そう楽しもう!

という気持ちを職員から感じることができたことが何よりでした。

外出活動も、以前の内容に戻りつつあります。色々な想定をして、緊張感を持って外出の内容を考える作業は楽しいです。これからも利用者の皆さんのために、楽しみの提供を考えられたらと思います。

(生活支援員 高雄 明)

## 第三病棟

第3病棟では、コロナ禍による活

動制限になる前から取り組んでいる設定活動を、利用者さん一人一人の趣向や能力に応じて取り組んでいます。

内容としては、「もつと歩く会、

ゆつくり歩く会、散歩部、探索部、

自由に遊び隊、わくわくチャレンジ、

ビデオシアター部、アイデア部、音楽の会、お湯部、OTからだ」の11

項目の設定活動があります。利用者さん1人1項目の設定活動に所属し

て頂き、およそ1週間から2週間に

一度のペースで活動に参加出来るよ

うになっています。各活動に参加す

ることで、楽しく過ごし、笑顔も多

く見られ、意欲的に取り組まれている利用者さんもおられます。

個別活動でも散歩や屋外へ出て外気浴をしたり、

職員のギター演奏が始まると、自ら寄つて来られる利用者さんも居

られ、楽しく演奏を聴いています。

今後の活動

としては、引き続き感染対策をしつかりと行った上で、集団での活動や参加人数を増やし、新しい活動や取り組みを考え、利用者さんの新たな一面を見つけて行きたいと思っています。

(生活支援員 奥野翔太)



## 第五病棟

第5病棟の年中活動の様子を紹介します。

今年度から詰所前に「つくつてみよう」スペースを設けました。病棟内の装飾を利用者さんと職員が一緒に作って作る場です。写真はティッシュペーパーで作ったあじさいです。集団活動や個別活動の時、またはちよっとしたスキマ時間にふらっと立ち寄って、手のひらでニギニギしています。利用者さんの手と職員の手が触れあって生まれる作品たち。色々な形があって面白いなあと思います。季節ごとに装飾し、病棟を彩れたらいいなと考えています。また、毎月第1日曜日をティータイムの日にしています。居室やランチルーム、時にはベランダ、その時々で場所を変え、みんなでワイワイとお茶会を開いています。屋内では映画や音楽



を鑑賞しながら、外では風を感じながら：お茶を飲む人もそうでない人も、穏やかな時間が過ごせるように開催しています。

今年こそは、年中活動再出発の年となりそうです。感染対策に気をつけながら、日々の生活に潤いをもたらす取り組みをしていきたいと思っています。

(生活支援員 渡部崇充)

## はなのき通所

はなのき通所のサークル活動を紹介합니다。

(よろず) マッサージ、ウォーターベッド、ミシン、リラクゼーション、手浴、足浴、散歩などの活動を行っています。ミシンでは、フットスイッチを使用し利用者さんがミシンを動かしており、通所内で使用するバスマットや布巾などを製作しています。

(紙漉き) 牛乳パックを使った紙漉

きでは、

利用者さ

んに色味

や模様を

考えても

らい製作

しています

す。完成

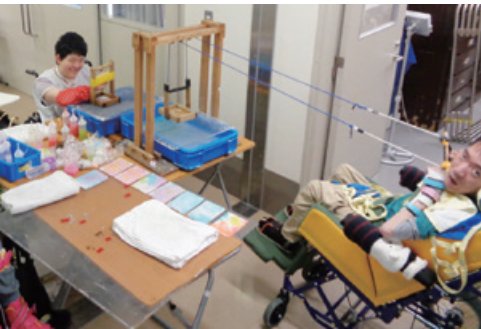
した漉き

紙は6月

時点で、

5枚入2

32袋と



3枚入12袋(計2,516枚)を外來受付に置き、來所された方に持ち帰っていただきました。更に、漉き紙でうちわを作成し、就職フェアで配布してもらったところ、とても好評だったようです。心を込めて作った漉き紙を、地域の方々に使って頂けることを励みにし、賑やかに楽しく活動しています。

(からだ) 園芸・創作・ミュージックケアを柱にした活動を行っています。園芸では、通所農園にトウモロコシ、トマト、枝豆、ピーマンを、通所ガーデンには、マリーゴールド、ひまわり等、季節の花を種から育てています。種まきが得意な方、水やりが得意な方などそれぞれ得意なことを生かし、使用する道具も工夫しています。育てた花は利用者さんに持ち帰って頂いたり、地域へ配ったりするなど、日々の活動の成果が地域へと繋がっていくように取り組んでいます。

(生活支援員 山本克也)

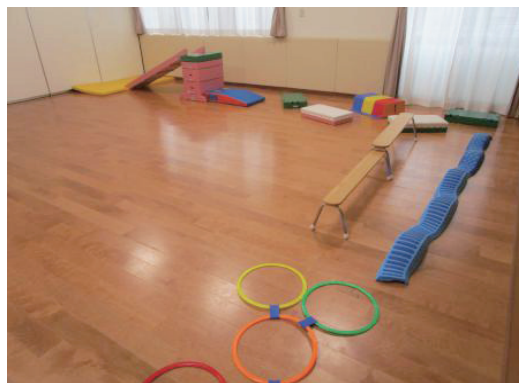
## 児童発達支援センター

新学期になり、児童発達支援(おひさま)、放課後等デイサービス(ココはなのき)が、新しいスタートを切りました。

おひさま継続利用の子どもたちは、少しお兄さん・お姉さんになり、昨年からの変化に職員も驚きながら療育をしています。新規の子どもたちは、『どんなところかな?』とドキドキしながら通い始め、4月、5月、6月としつ

かりと慣れて来てくれています。

ココはなのきでは、びかびかの1年生たちが増え、新しい環境にちよっとお疲れかな?という様子も見せながら、楽しく活動しています。慣れてきてニコニコのお子さんもいれば、慣れたからこそ『やだーっ』と自分の思いを全開しているお子さんもいます。職員はどんと構えて、子どもたちが自分の思いをしっかりと出して、折り合いをつけることができるように頑張っています。



さて、『やだーっ』と言ってしまおう子さんでも、見たら思わず『やりたーい』と思ってしまう遊具が4月から登場しました。おぎゃあ献金で買っていたいただいた滑り台や巧技台などです。

おひさまでもココはなのきでもフル活用!!しっかりと身体を動かして、楽しく身体と気持ちのコントロールを学んでほしいと思っています。

(こども療育係 心理判定員 高橋良子)



☆これまでの経歴を教えてくださいただけですか—

生まれは大阪の茨木市で高校まで過ごしました。京都府立医科大学を卒業して小児科学教室に入局し、研修は府立医大へ1年行った後、南大阪病院と京都市立病院で勤務しました。その後は府立医大の大学院に入り、腎臓の研究をしていました。そして滋賀県の能登川病院、国立舞鶴病院で4年ほど勤務したあと、助手として府立医大に戻りました。

その後アメリカへ留学しナッシュビルという町で2年間腎臓の研究をしていました。帰国後は府立医大、小児科と小児循環器腎臓科で腎臓を担当していました。3年前から京都第一赤十字病院で勤務した後、定年退職になり、花ノ木に来させて頂きました。

☆子どもの頃はどのように過ごされていましたか—

小学生の頃はピアノや絵、少年野球もやってました。住んでいた茨木には、昔は田んぼや自然がたくさんありました。小学生の頃、大阪万博が開催され、その頃から住宅が増え、かなり街の雰囲気が変わりました。

☆アメリカ留学はどうでしたか—

アメリカ南部のナッシュビルという町なんですけど、人柄や治安も良く、とてもいいところで、あちこち遊びに行きました。ナッシュビルは中都市で医療がセンター化していて、システム的にも進んでいるように感じましたし、

外から日本をみる機会ができて、それはそれでよかったですと思います。

☆花ノ木の印象をお聞かせください—

重症心身障害児者の方については、第一日赤の時は患者さんでおられたの

## シリーズ「この人にきく」

医師 西田 眞佐志 さん

今回は、この4月に副所長（兼診療部長）として着任された西田 眞佐志 先生にお話を伺いました。



これから色々なことを勉強させてもらうことも多いかなと思います。皆が協力して患者さんを診ている姿は本当に勉強になります。小児科にも医療的ケアの必要な患者さんが増えていきますし、こういう施設は大事になってくる

ですが、これまで関わる機会があまりなく、少し新鮮な感じではあります。ここは病院ですが、生活の場でもあるので色々な職種の方がおられ、協力してやっておられるということ、アットホームな雰囲気という施設だと思います。

☆休日はどうのように過ごされていますか—

とりあえず睡眠をよくとって、最近では家の近くをウォーキングしたり、

ちよつとした山に登ったりしています。基本歩くのは好きです。あとはクラシック音楽が好きなのでコンサートに出かけたりしていましたが、コロナ禍になつてからは行けてません。その他、映画を観に行ったり、妻と一緒に美味しいものを食べ歩きに行ったりします。

大学時代にオーケストラでバイオリンをしていまして、定年退職したら再開しようと思っていましたけど、今は余裕がなくてできません。また余裕ができれば楽器をやりたいと思っています。

☆今後の抱負についてお聞かせください—

重症心身障害児者の方の勉強をあまりやってこなかったもので、身体の調節機構について健常の方と違うところがあるかと思っています。そういったところを詳しく掘り下げて勉強していきたいと思っています。身体を動かせない方が多く、栄養摂取についても特殊で、今まで診てきた方とはまた全然違うところがあります。そういうところについて研究的な事もできたらと思います。

○インタビュを終えて

とても優しい雰囲気です。インタビューに答えて頂き、先生の普段のお人柄が伝わってくるようでした。今回、貴重な時間を本当にありがとうございました。

（編集委員）灰川史朗

青山佳子

○社会福祉法人花ノ木役員（理事・監事）の再承認、及び令和4年度会計決算が6月7日開催の理事会、6月26日開催の評議員会において認定されましたので、定款第32条の規定により公告します。  
また、6月26日開催の評議員会において欠員となっていた監事に金谷浩志氏が、6月28日の臨時理事会において、理事長、常務理事の再任が承認されました。

## ◇理事

山内 一 寺田 直人 向井 純一  
中村 正孝 矢田 勲 山内 勇

## ◇監事

松本 行雄  
金谷 浩志

## ◇会計監査人

監査法人グラヴィタス  
代表社員 公認会計士 木田 稔

## 令和4年度 資金収支計算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	915,742,000	919,526,723	△3,784,723	
		医療事業収入	1,360,757,000	1,366,473,961	△5,716,961	
		喀痰吸引等研修事業収入	550,000	54,000	496,000	
		経常経費寄附金収入	10,000	0	10,000	
		受取利息配当金収入	6,000,000	10,611,041	△4,611,041	
		その他の収入	2,191,000	3,433,790	△1,242,790	
	事業活動収入計(1)		2,285,250,000	2,300,099,515	△14,849,515	
	支出	人件費支出	1,707,934,000	1,690,209,074	17,724,926	
		事業費支出	255,170,000	244,482,799	10,687,201	
		事務費支出	153,200,000	142,838,373	10,361,627	
支払利息支出		820,000	819,343	657		
事業活動支出計(2)		2,117,124,000	2,078,349,589	38,774,411		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		168,126,000	221,749,926	△53,623,926		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	2,850,000	2,850,000	0	
		施設整備等寄附金収入	10,000	4,745,000	△4,735,000	
		施設整備等収入計(4)	2,860,000	7,595,000	△4,735,000	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	17,192,000	17,192,000	0	
		固定資産取得支出	9,898,000	12,767,676	△2,869,676	
		ファイナンスリース債務の返済支出	2,276,000	2,274,696	1,304	
施設整備等支出計(5)		29,366,000	32,234,372	△2,868,372		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△26,506,000	△24,639,372	△1,866,628		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	11,927,000	0	11,927,000	
		その他の活動収入計(7)	11,927,000	0	11,927,000	
	支出	積立資産支出	111,927,000	130,000,000	△18,073,000	
		その他の活動支出計(8)	111,927,000	130,000,000	△18,073,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△100,000,000	△130,000,000	30,000,000		
予備費支出(10)		5,000,000	—	5,000,000		
		0				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		36,620,000	67,110,554	△30,490,554		

前期末支払資金残高(12)	0	540,563,576	△540,563,576	
当期末支払資金残高(11)+(12)	36,620,000	607,674,130	△571,054,130	

## 令和4年度 事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収	障害福祉サービス等事業収益	919,526,723	906,350,212	13,176,511
		医療事業収益	1,366,473,961	1,405,962,928	△39,488,967
		喀痰吸引等研修事業収益	54,000	468,000	△414,000
	益	その他の収益	2,864,890	2,446,564	418,326
		サービス活動収益計(1)	2,288,919,574	2,315,227,704	△26,308,130
	費	人件費	1,688,189,338	1,679,846,841	8,342,497
		事業費	244,372,228	221,978,861	22,393,367
		事務費	142,838,373	140,480,189	2,358,184
	用	減価償却費	132,189,866	130,640,002	1,549,864
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△31,902,414	△31,649,157	△253,257
	サービス活動費用計(2)	2,175,687,391	2,141,296,736	34,390,655	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	113,232,183	173,930,968	△60,698,785	
サービス活動外増減の部	収	受取利息配当金収益	10,611,041	6,780,619	3,830,422
		その他のサービス活動外収益	568,900	313,400	255,500
	益	サービス活動外収益計(4)	11,179,941	7,094,019	4,085,922
	費用	支払利息	819,343	909,269	△89,926
		サービス活動外費用計(5)	819,343	909,269	△89,926
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	10,360,598	6,184,750	4,175,848	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	123,592,781	180,115,718	△56,522,937	
特別増減の部	収	施設整備等補助金収益	2,850,000	2,540,000	310,000
		施設整備等寄附金収益	4,745,000	770,000	3,975,000
		固定資産受贈額	200,000	0	200,000
		固定資産売却益	0	90,000	△90,000
	益	特別収益計(8)	7,795,000	3,400,000	4,395,000
	費用	固定資産売却損・処分損	8,011	1	8,010
		国庫補助金等特別積立金積立額	2,850,000	2,540,000	310,000
	特別費用計(9)	2,858,011	2,540,001	318,010	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	4,936,989	859,999	4,076,990	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	128,529,770	180,975,717	△52,445,947	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	1,526,288,872	1,447,014,641	79,274,231
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,654,818,642	1,627,990,358	26,828,284
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	130,000,000	101,701,486	28,298,514
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,524,818,642	1,526,288,872	△1,470,230	

## 貸借対照表

令和5年3月31日 現在

(単位: 円)

<b>◆資産の部</b>			<b>◆純資産の部</b>
流動資産	682,831,178	ソフトウェア	16,041,300
現金預金	289,784,770	退職給付引当資産	868,656
事業未収金	349,068,078	その他の積立資産	2,167,112,939
未収補助金	36,507,810	資産の部合計	4,877,658,960
医薬品	4,061,764	<b>◆負債の部</b>	
立替金	401,106	流動負債	169,574,816
前払費用	3,007,650	事業未払金	27,243,192
固定資産	4,194,827,782	1年以内返済予定設備資金借入金	13,692,000
基本財産	1,900,779,561	1年以内返済予定リース債務	946,440
土地	481,499,760	未払費用	40,532,957
建物	3,702,788,743	預り金	197,600
減価償却累計額	△2,283,508,942	職員預り金	2,896,275
その他の固定資産	2,294,048,221	仮受金	660
構築物	32,694,190	賞与引当金	83,841,092
車輜運搬具	24,286,232	未払消費税	224,600
器具及び備品	364,861,871	固定負債	167,040,656
建設仮勘定	4,070,000	設備資金借入金	166,172,000
減価償却累計額	△336,800,891	リース債務	0
有形リース資産	20,913,924	退職給付引当金	868,656
		負債の部合計	336,615,472



# 掲示板

令和4年度

## 苦情解決事業報告

令和4年度は、10月に短期入所をご利用のご家族より1件の苦情の申し出がありました。

内容としては、ご利用中の就寝場所が本来の就寝場所ではない、食堂の一部を使用していたことについてでした。

対象の利用者様は、もともと畳に布団を敷き就寝されていましたが、7月の短期利用時に手指の骨折が発見されたため、ご家族了承の上、夜間帯はベッドでの就寝に変更させていただいていました。10月の短期利用時にご家族より夜間の就寝場所について質問があり、「病棟で感染症が発生した時は食堂の一部にベッドを置き就寝していただくことがありません。」と回答したところ、ご家族は初めて食堂で就寝されていると聞かされ、就寝場所にふさわしくない環境ではないかと、改善を求められました。

ご家族には、就寝時のみとはいえ食堂内でベッドを使用したことについて、不適切であったこと、病棟の感染状況などにより食堂の一部を使用することがあり得るような状況であったことの説明が不十分であったこと、居住環境についての配慮が不足していたことを謝罪しました。

今後は、短期入所、長期入所にかかわらず、ご利用者にとって適切で快適な居住環境を考えていきたいと思います。

(苦情受付担当者 武内知美)

# 花ノ木の動き

(令和五年一月一日〜令和五年六月三十日)

- 1/4 仕事始めの式  
看護実習 京都聖カタリナ高等学校  
(3月・木・金のみ)
- 2/8 所内研修「メンタルヘルス」  
保育実習 京都光華女子大学(2/6)  
第16回地域福祉を考える集い  
所内研修「後期医療安全」  
リハビリ実習 京都医療専門学校(3/1)  
所内研修「出張報告会」  
医管棟 通園棟・児発支センター防災訓練(布シート)  
リハビリ実習 びわこリハビリテーション専門職大学(10)
- 3/6 所内研修「事例研究発表会」  
理事会
- 4/3 退職者辞令交付式  
辞令交付式  
新規採用職員等オリエンテーション(4)
- 5/10 所内研修「理事長講話」  
看護実習 明治国際医療大学  
(20・21・5/18・19・6/15・28)  
所内研修「防火設備・消火器操作・美化活動・リフト車取扱」  
慰霊祭
- 6/7 所内研修「系統理解Ⅰ」  
医管棟・通園棟・児発支センター防災訓練  
(車いす操作)  
リハビリ実習 大阪医療福祉専門学校(7/21)  
所内研修「系統理解Ⅱ」  
理事会  
BCP机上訓練(&23)  
所内研修「接遇マナー」  
医管棟・通園棟・児発支センター防災訓練  
(消火器操作)  
評議員会  
臨時理事会

# ありがとうございました

寄付・寄贈 (敬称略)

◎寄附 打越孝嗣／一般社団法人生命保険協会京都府協会

◎寄贈

亀岡市社会福祉協議会(手指消毒液、トイレトペーパー、ティッシュペーパー、タオル等)  
若林 彩(医療物品、オムツ)

## 編集後記

私の祖父は91歳。10年前に祖母が亡くなってから二人暮らしですが、掃除、洗濯、炊事と全てをこなし、パソコンで電子広告を見て買い物も自分で行きます。

私の子どもたちを連れて遊びにいくと、手作りのどら焼きやお好み焼き、肉まん、もてなしてくれ、肉まんの作り方は私も子どもたちに教えてもらい、母と良く一緒に作りました。お好み焼きは主人も大好物で、作り方を教わりましたが、キャベツの千切りをできる限り細長く切ることがポイントのようで、つい大雑把に料理をしてしまう私には向いていない作業で、1回は作りましたが、祖父の味にはかなわず、結局ご馳走になつています。

祖父は料理以外にもパソコンや裁縫もでき、コロナ禍前まではいろんな国へ旅行し、先々の記録を手帳に書き込んだものを、家に帰ってからパソコンに打ち込み、何ページにもわたる旅行記を作っていました。裁縫に関しては、縫いたいものがあれば祖父にお願いしています。更に最近ではピアノにも挑戦するなど、その向上心はどこからくるのか。そんなアグレッシブなおじいちゃんに若者である私のほうがいつも元気をもらっています。さて、今年度より約10年ぶりに編集委員を担当させて頂いたことになりました。文章作成はあまり得意ではないので、周りの方々に教えていただきながら、読みやすい文章、読みたくなる広報紙作りを目指したいと思います。どうぞよろしく願います。

(編集委員 青山佳子)